

福岡 寿 先生 プロフィール

1981年東京大学文学部を卒業後、「金八先生」にあこがれて中学校の教師。その後、知的障害者施設「長峯学園」の指導員となる。1992年、現在の相談支援専門員のはしりとなる地域療育等支援事業のコーディネーターとなる。その後、保育園等の巡回訪問指導の日々となり、1998年に「北信圏域障害者生活支援センター」を立ち上げる。2003年より5年間、当時の田中康夫県政のもとで、社会部障害者自立支援課の専門員を兼務し、長野県における、知的障害者施設「コロニー西駒郷」の地域生活移行の取り組みにかかわる。

現在、長野県自立支援協議会会長として、発達障害児の療育支援システムづくりに取り組みつつ、日本相談支援専門員協会顧問として障害者の相談支援体制づくりをすすめている。

著書に「施設と地域の間で考えた」「こうすればできる発達障害の子がいる保育園での集団作り・クラス作り」(筒井書房)、編著書に「コーディネーターがひらく地域福祉」共著書に「僕らは語り合った障害福祉の未来を」(ぶどう社)、「地域生活のススめ」(Sプランニング)など。

<「発達障害の子がいる保育園での集団作り・クラス作り」より、一部改>